

平成30年～令和4年度  
劇場・音楽堂等機能強化推進事業  
(劇場・音楽堂等機能強化総合支援事業)  
成果報告書

団 体 名	公益財団法人墨田区文化振興財団
施 設 名	すみだトリフォニーホール
助 成 対 象 活 動 名	文化芸術振興による「すみだ」の地域力の向上
助 成 期 間	5 (年間)
内 定 額	平成30年度 57,280 平成31年度 52,677 令和2年度 33,448 令和3年度 51,952 令和4年度 55,807 (千円)

# 1. 事業概要

## (1) 事業計画の概要

### 全体図（概念図）

(事業名)文化芸術振興による「すみだ」の地域力の向上

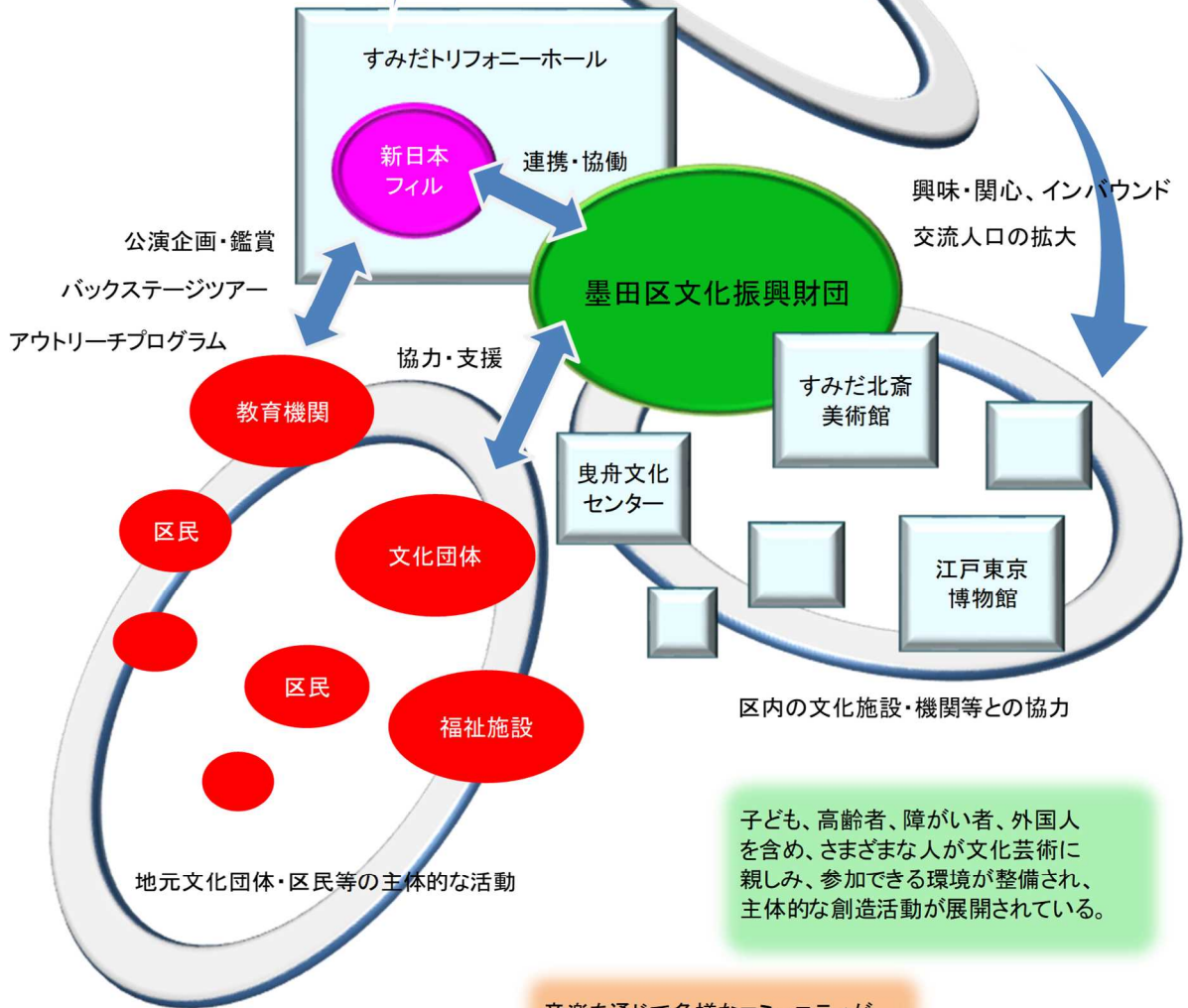
世界的なメガシティ東京の東部に位置する音楽ホールとして、広域関東圏から来館者・利用者を招くとともに、良質なプログラムで国内外の音楽関係者から知られる存在となる。

当館の存在及び事業により交流人口が増加し、地域の魅力が発信されるとともに、すみだに育ち、働き、暮らすことを人々が誇りに感じている。

ホール及び「すみだ」の世界的発信

国内外の音楽家やホール等とのネットワーク

興味・関心、インバウンド  
交流人口の拡大



子ども、高齢者、障がい者、外国人を含め、さまざまな人が文化芸術に親しみ、参加できる環境が整備され、主体的な創造活動が展開されている。

音楽を通じて多様なコミュニティが形成され、地域や世代を超えた人と人とのつながりが育まれている。

## (2) 令和4年度実施事業一覧

番号	事業名	主な実施日程	概要 (演目、主な出演者、スタッフ等)	入場者・参加者数	
		主な実施会場		目標値	実績値
1	25th アニバーサリーウィーク	2022年10月26日・29日・30日	演目：ベートーヴェン／交響曲第9番 ほか 出演：佐渡裕 さだまさし シエナ・ウインド・オーケストラ 新日本フィルハーモニー交響楽団	目標値	3,800
		すみだトリフォニーホール 大ホール		実績値	4,452
2	すみだ平和祈念音楽祭2023	2023年3月11日	演目：ラヴェル／左手のためのピアノ協奏曲 サン＝サーンス／交響曲第3番 出演：クリスティアン・アルミンク 萩原麻未 ほか	目標値	1,850
		すみだトリフォニーホール 大ホール		実績値	1,471
3	下野竜也プレゼンツ！音楽の魅力発見プロジェクト第9回 讃・山本直純 没後20年「オーケストラがやっと来た」	2022年8月6日	演目：山本直純／シンフォニックパレード オーケストラ・デモンストレーション 出演：下野竜也 新日本フィルハーモニー交響楽団	目標値	1,200
		すみだトリフォニーホール 大ホール		実績値	798
4	新日本フィル《映画音楽》コンサート2022	2022年5月7日	演目：ニューシネマパラダイス 風と共に去りぬ ローマの休日より 出演：竹本泰蔵 新日本フィルハーモニー交響楽団	目標値	1,200
		すみだトリフォニーホール 大ホール		実績値	1,436
5	新日本フィル・ニューイヤー・コンサート2023 in すみだ曳舟	2023年1月4日	演目：J. シュトラウスⅡ 喜歌劇こうもり序曲 シャンパン・ポルカ ワルツ「春の声」出演：桂宮治 柴田真郁 新日本フィルハーモニー交響楽団	目標値	400
		曳舟文化センター 劇場ホール		実績値	515
6	赤ちゃんも、障がいのある方も、未就学児も…みんなみんな、「ようこそ！誰でもコンサート」新日本フィル・スペシャル！	2022年8月9日	演目：ビゼー《アルルの女》より カバレフスキー道化師よりギャロップ ほか 出演：坂入健司郎 岩崎瑞穂 新日本フィルハーモニー交響楽団	目標値	1,000
		すみだトリフォニーホール 大ホール		実績値	706※
7	新日本フィル ようこそ！リラックス・コンサート	2022年10月8日	演目：ハチャトゥリアン「剣の舞」Jウィリアムズ スターウォーズメインテーマ ほか 出演：和田一樹 宮里直樹 新日本フィルハーモニー交響楽団	目標値	1,000
		すみだトリフォニーホール 大ホール		実績値	796
8	能・義太夫・歌舞伎 謡かたり「隅田川」	2022年8月13日	演目：謡かたり「隅田川」 出演：尾上菊之助 豊竹咲太夫 大倉源次郎 鶴澤燕三 鶴澤燕二郎 柿原弘和 杉信太郎	目標値	1,400
		すみだトリフォニーホール 大ホール		実績値	1,230
9	トリフォニーホール パイプオルガン・クリスマス・コンサート2022	2022年12月10日	演目：くるみ割り人形より(抜粋)ほか 出演：室住素子 井上バレエ団	目標値	2,800
		すみだトリフォニーホール 大ホール		実績値	2,983
10	オルガンコンサート&バックステージツアー／パイプオルガンを弾いてみよう！	2022年6月22日 他	演目：トッカータとフーガ 他 出演：安井歩 ほか	目標値	270
		すみだトリフォニーホール 大ホール		実績値	177
11	トリフォニーホール・グレイト・ピアニスト・シリーズ「ヴィルサラージェ、サイ、アヴデーエワ」トリフォニーホール《ゴルトベルク変奏曲》2022 ファジル・サイ	2022年11月26日・2023年1月29日・2月26日	演目：プロコフィエフ／戦争ソナタ バッハ／ゴルトベルク変奏曲 ほか 出演：エリソ・ヴィルサラージェ ファジル・サイ ユリアンナ・アヴデーエワ	目標値	3,320
		すみだトリフォニーホール 大ホール		実績値	3,350
12	ラトヴィア放送合唱団&新日本フィルハーモニー交響楽団	2022年10月22日	演目：リゲティ／ルクス・エテルナ モーツァルト／レクイエム 出演：ラトヴィア放送合唱団 新日本フィルハーモニー交響楽団	目標値	1,100
		すみだトリフォニーホール 大ホール		実績値	932
13	新日本フィル・アウトリーチ・プログラム	通年	新日本フィルハーモニー交響楽団 楽員	目標値	7,400
		墨田区立小中学校 墨田区内福祉施設等		実績値	7,749

14	すみだ音楽祭 2022 ～ 向こう3軒両隣 あなたの 隣の音楽家～	2022年8月27・28日	出演：墨田区音楽団体協議会 墨田区 合唱連盟	目標値	10,000
		すみだトリフォニー ホール 大ホール		実績値	1,362※
15	トリフォニーホール・ジ ュニア・オーケストラ	通年	演目：モーツァルト／ディヴェルティ メント ビゼー／《カルメン》第一組曲 より ほか 出演：松尾葉子 トリフ ォニーホール・ジュニア・オーケストラ	目標値	2,900
		すみだトリフォニー ホール		実績値	2,146※
16	トリフォニーホール《す みだキッズパス》	通年	—	目標値	70
		—		実績値	32
17	すみだトリフォニーホール セレクション コンテンポ ラリーシリーズスペシャ ル・コンサート	2023年2月28日	出演：マンハッタン・トランスファー withビッグバンド 演目：ジャンクション オペレーター ほか	目標値	1,400
		すみだトリフォニー ホール 大ホール		実績値	1,620

※ …新型コロナウイルス感染症の影響があったもの

### (3) 令和3年度実施事業一覧

番号	事業名	主な実施日程	概要 (演目、主な出演者、スタッフ等)	入場者・参加者数	
		主な実施会場		目標値	実績値
1	すみだ平和祈念音楽祭 2022	2022年3月12日(土)	演目:コダーイ/ミゼレーレ モーツァルト:ピアノ協奏曲第24番 サン=サーンス/アヴェ=マリア プリテン/シンフォニア・ダ・レクイエム 出演:下野竜也 津田裕也 新日本フィルハーモニー交響楽団 ※新型コロナウイルス感染拡大の影響により関連企画実績減	目標値	1,000
		すみだトリフォニーホール 大ホール		実績値	804※
2	トリフォニーホール パイプオルガン・クリスマス・コンサート2021	2021年12月19日(日)	演目:クロード・ダカン/ノエル第10番 スタジオジブリメドレー J.S.バッハ/カンタータ第147番より「主よ、人の望みの喜びを」、前奏曲とフーガ 他 出演:梅干野安未 平野公崇 岩崎瑞穂	目標値	1,400
		すみだトリフォニーホール 大ホール		実績値	3,053
3	オルガン・コンサート&バックステージ・ツアー	通年	出演:原田真侑・木村理佐・栗山美緒・平野由衣・湊彩花・阿部翠	目標値	1,000
		すみだトリフォニーホール 大ホール		実績値	170
4	オルガン体験教室 for すみだ	通年	出演:長田真実、室住素子	目標値	30
		すみだトリフォニーホール 大ホール		実績値	103
5	トリフォニーホール・グレート・プラス&ウィングス・シリーズ	2021年6月29日(土) 2021年9月26日(土)	出演:中川英二郎 エリック・ミヤシロ・本田雅人・川瀬賢太郎 新日本フィルハーモニー交響楽団 シエナ・ウインド・オーケストラ ※新型コロナウイルス感染拡大の影響により1公演減	目標値	3,900
		すみだトリフォニーホール 大ホール		実績値	2,089 ※
6	トリフォニーホール・グレート・ピアニスト・シリーズトリフォニーホール《ゴルトベルク変奏曲》2021 ヴィキングル・オラフソン	※中止	※新型コロナウイルス感染拡大の影響により公演を中止した。	目標値	1,000
		すみだトリフォニーホール 大ホール		実績値	— ※
7	トリフォニーホール・セレクション ウィーン少年合唱団	※中止	※新型コロナウイルス感染拡大の影響により公演を中止した。	目標値	1,100
		すみだトリフォニーホール 大ホール		実績値	— ※
8	下野竜也プレゼンツ!音楽の魅力発見プロジェクト第8回	2021年8月14日(土)	演目:大河ドラマ作品 出演:下野竜也 新日本フィルハーモニー交響楽団	目標値	1,100
		すみだトリフォニーホール 大ホール		実績値	827
9	新日本フィル・ニューイヤー・コンサート2021 in すみだ曳舟 《落語&コンサート》	2022年1月15日(土)	演目:J.シュトラウスⅡ/喜歌劇《こうもり》序曲 春の声 雷鳴と電光 美しく青きドナウ グノー/歌劇《ファウスト》より「宝石の歌」 出演:立川龍志 横山奏 中須美喜 田添菜穂子 新日本フィルハーモニー交響楽団	目標値	500
		すみだトリフォニーホール 大ホール		実績値	453
10	赤ちゃんも、障がいのある方も、未就学児も…みんなみんな、「ようこそ!誰でもコンサート」新日本フィル・スペシャル!~Sound Dream Project~	2021年6月3日(土)	演目:久石譲:オーケストラ・ストーリーズ「となりのトトロ」より「さんぽ」 アンダーソン/トランペット吹きの子守歌 プリンク・ブランク・プルンク 出演:永峰大輔 岩崎瑞穂 新日本フィルハーモニー交響楽団	目標値	700
		すみだトリフォニーホール 大ホール		実績値	569
11	お腹に赤ちゃんのいるお	2021年11月3日(水祝)	演目:久石譲:オーケストラ・ストーリーズ「となりのトトロ」より「さんぽ」 モーツァルト/歌劇「魔	目標値	1,300

	母さんのためのリラック ス・コンサート	すみだトリフォニーホール 大ホール	笛]より夜の女王のアリア ハチャトウリアン/仮 面舞踏会よりワルツ 出演:和田一樹 中須美喜 田添菜穂子 福田 えりか 新日本フィルハーモニー交響楽団	実績値	1,057
12	新日本フィル・シンフォ ニック・ジャズ・コンサ ート Special Guest 上原 ひろみ	2021年8月9日(土)※	演目:バーンスタイン/キャンディード序曲 出演:上原ひろみ 新日本フィルハーモニー交 響楽団	目標値	1,000
		すみだトリフォニーホール 大ホール		実績値	1,524
13	新日本フィル・アウトリー チ・プログラム	通年	新日本フィルハーモニー交響楽団 楽員	目標値	7,400
		すみだトリフォニーホール 大ホール		実績値	6,678
14	墨田区立中学校全10校 による「すみだ中学校吹 奏楽祭2021」	2021年11月24日(土)※	※ホールの公演は中止となったが、前 提となる音楽教員向け事業を開催し た。講師:中谷孝哉	目標値	1,000
		すみだトリフォニーホール 大ホール		実績値	10※
15	すみだ音楽祭2021	2022年8月22(土) 28・29日(土・日)	出演:すみだマンドリンクラブ 墨田 区吹奏楽団 立志舎高校吹奏楽部 コ ール・アミーガ 他 ※新型コロナウイルス感染拡大に伴う参加 団体数が大幅に減・入場数制限	目標値	10,000
		すみだトリフォニーホール 大ホール		実績値	900※
16	トリフォニーホール・ジ ュニア・オーケストラ	2021年10月、11月21日(日)、 2022年3月27日(日) ※(公演中止)	※新型コロナウイルス感染拡大に伴い 公演はすべて中止となり、練習のみ実 施した。	目標値	2,000
		すみだトリフォニーホール		実績値	—※
17	トリフォニーホール《す みだキッズ年間パス》	通年	※新型コロナウイルス感染拡大に伴い 対象公演減	目標値	50
		—		実績値	26※
18	ホール探訪!もっとトリ フォニーホールを知ろう	2022年11月14日(日) ※	出演:木村理佐 ※新型コロナウイルス感染拡大に伴い 実施内容を変更、実施回数減	目標値	360
		すみだトリフォニーホール 大ホール		実績値	51※

※ …新型コロナウイルス感染症の影響があったもの

(4) 令和2年度実施事業一覧

番号	事業名	主な実施日程	概要 (演目、主な出演者、スタッフ等)	入場者・参加者数	
		主な実施会場		目標値	実績値
1	「SOUND Dream Project」	2020年6月10日(水) ※	新型コロナウイルス感染症の影響で公演を中止した。	目標値	1,000
		すみだトリフォニーホール 大ホール		実績値	—※
2	「新日本フィルの生オケ・シネマ vol.5 チャップリン《街の灯》」	2021年3月17日(水) ※	演目：チャップリン 《街の灯》 (86分、休憩なし) 出演：竹本泰蔵(指揮)、新日本フィルハーモニー交響楽団	目標値	910
		すみだトリフォニーホール 大ホール		実績値	739※
3	Fun!Fun!Fun!2020 映画名シーンをオーケストラとともに	2020年8月10日(月) ※	曲目：星に願いを、アズ・タイム・ゴーズ・バイ、雨に唄えば、他 出演：竹本泰蔵(指揮)、新日本フィルハーモニー交響楽団	目標値	800
		すみだトリフォニーホール 大ホール		実績値	419※
4	綾小路きみまろ爆笑ライブ with 新日本フィル「大人のハーモニー」	2020年12月6日(日)	演目：綾小路きみまろ爆笑ライブ、グローフェ/ミシシッピー組曲 他 出演：綾小路きみまろ(漫談・司会)、角田綱亮(指揮・お話)、新日本フィル	目標値	950
		すみだトリフォニーホール 大ホール		実績値	747※
5	「小菅優 & 新日本フィル《生誕250周年オール・ベートーヴェン》」	2021年1月6日(水)※	演目：ベートーヴェン/ピアノ協奏曲第5番「皇帝」、他 出演：小菅優(ピアノ) 角田綱亮(指揮) 新日本フィル	目標値	600
		すみだトリフォニーホール 大ホール		実績値	661※
6	「第7回 音楽の魅力発見プロジェクト・スペシャル」	2020年8月15日(土) ※	演目：ベートーヴェン/交響曲の全1楽章 出演：下野竜也(指揮)、新日本フィル 注：1日2回公演として実施※	目標値	850
		すみだトリフォニーホール 大ホール		実績値	536※ 448※
7	「すみだ平和祈念コンサート2021」プロジェクト	2021年3月10日(水) ※	演目：ベートーヴェン/交響曲第2番、ゲーテの悲劇《エグモント》への音楽 出演：秋山和慶(指揮)、石丸幹二(朗読)、櫻井愛子(ソプラノ)、新日本フィル	目標値	900
		すみだトリフォニーホール 大ホール		実績値	541※
8	「ベルリンフィル・ホルンカルテットの世界一周」	2020年7月2日(木)※ (公演中止)	新型コロナウイルス感染症の影響で公演を中止した。	目標値	650
		すみだトリフォニーホール 大ホール		実績値	—※
9	講談：神田松之丞 真打祝・独演会	2020年11月5日(木) ※	演目：「扇と的」「東玉と伯圓」「中村仲蔵」 出演：六代目 神田伯山(講談)	目標値	900
		すみだトリフォニーホール 大ホール		実績値	1,141※
10	トリフォニーホール パイプオルガン・バレンタイン・コンサート2021	2021年2月11日(木) ※	演目：メンケン/『美女と野獣』メドレー、パッヘルベル/カノン、他 出演：室住素子(オルガン)、操美穂子(ハープ)、田添菜穂子(司会)	目標値	700
		すみだトリフォニーホール 大ホール		実績値	595※
11	トリフォニーホール for クリスマス 2020	2020年12月11日(金) ※	出演：長田真実[オルガン]、田添菜穂子[司会] 注：1日2回公演として実施	目標値	600
		すみだトリフォニーホール 大ホール		実績値	775※ 771※
12	トリフォニーホール・ジュニア・オーケストラ	2020年8月22日(土)、 10月18日(日)、3月28日(日) ※(公演中止)	新型コロナウイルス感染症の影響で公演はすべて中止となり、年度末に2回の合奏練習のみ実施した。	目標値	4,000
		すみだトリフォニーホール 墨田区総合体育館		実績値	—※
13	すみだ音楽祭2020	2020年8月23日(日)・29日(土)・30日(日)※(全公演中止)	新型コロナウイルス感染症の影響で公演をすべて中止した。	目標値	12,000
		すみだトリフォニーホール 大ホール・小ホール		実績値	—※

番号	事業名	主な実施日程	概要 (演目、主な出演者、スタッフ等)	入場者・参加者数	
		主な実施会場		目標値	実績値
14	パイプオルガン・コンサート&バックステージ・ツアー	通年	出演：木村理佐、原田真侑、東方理紗 [パイプオルガン]	目標値	100
		すみだトリフォニーホール 大ホール		実績値	179
15	新日本フィル活用アウトリーチ・プログラム	通年※	新日本フィルハーモニー交響楽団 楽員	目標値	5,000
		墨田区立小中学校 墨田区内福祉施設		実績値	5,976※

※ …新型コロナウイルス感染症の影響があったもの



(5) 平成31年度実施事業一覧

番号	事業名	主な実施日程	概要 (演目、主な出演者、スタッフ等)	入場者・参加者数	
		主な実施会場		目標値	実績値
1	すみだ平和祈念音楽祭 2020	2020年3月10日 他	出演：上岡敏之(指揮)、坂東玉三郎(朗読)、櫻井愛子(ソプラノ)、新日本フィルハーモニー交響楽団 他 ※新型コロナウイルス感染拡大に伴う中止	目標値	4,800
		大ホール		実績値	0※
2	新日本フィルの生オケ・シネマ 2019	2019年5月25日	出演：ティモシー・ブロック(指揮)、新日本フィルハーモニー交響楽団 他	目標値	2,400
		大ホール		実績値	1,456
3	トリフォニーホール・グレイト・ピアニスト・シリーズ 2019/20	2019年6月4日 他	出演：ピョートル・アンデルシェフスキ、ピーター・ゼルキン、ヴィキングル・オラフソン、ジャンルカ・カシオーリ、新日本フィルハーモニー交響楽団	目標値	4,400
		大ホール		実績値	1,582
4	トリフォニーホール・グレイト・オーケストラ・シリーズ 2019/20	2019年6月30日 他	出演：クリスティアン・アルミンク(指揮)、ベルギー王立リエージュ・フィルハーモニー管弦楽団、エリアフ・インバル(指揮)、ペルリン・コンツェルトハウス管弦楽団 他	目標値	2,200
		大ホール		実績値	1,509
5	トリフォニーホール・ジュニア・オーケストラ	2019年8月1日 他	出演：松尾葉子(指揮)、トリフォニーホール・ジュニア・オーケストラ 他	目標値	5,000
		大ホール 他		実績値	4,030
6	すみだ音楽祭 2019	2019年8月18日 他	出演：墨田区内で活動する音楽団体等(34団体)	目標値	10,000
		大・小ホール		実績値	22,000
7	新日本フィル・アウトリーチ・プログラム	2019年10月20日 他	出演：新日本フィルハーモニー交響楽団 楽団員 他	目標値	8,000
		墨田区立小中学校、墨田区内施設		実績値	7,000
8	下野竜也プレゼンツ！音楽の魅力発見プロジェクト第6回「オーケストラ付レクチャー・コンサート」チャイコフスキー：交響曲第6番「悲愴」	2019年8月4日	出演：下野竜也(指揮)、新日本フィルハーモニー交響楽団	目標値	1,500
		大ホール		実績値	900
9	新日本フィル・ニューイヤー・コンサート 2020 in すみだ曳舟	2020年1月4日	出演：春風亭一朝(落語)、角田鋼亮(指揮)、新日本フィルハーモニー交響楽団	目標値	500
		曳舟文化センター		実績値	450
10	トリフォニーホール《クリスマス・オルガン・コンサート》 2019	2019年12月22日	出演：アダム・タバイディ(オルガン)、中須美喜(ソプラノ)	目標値	1,200
		大ホール		実績値	1,600
11	バックステージ・ツアー&オルガン・コンサート	2019年6月6日 他	出演：棚瀬紫織(オルガン)、内田光音(オルガン)、石川優歌(オルガン)	目標値	200
		大ホール		実績値	100
12	すみだ×浜松音楽都市交流企画「浜松国際ピアノコンクール優勝者ピアノ・リサイタル」	2019年8月5日	出演：ジャン・チャクムル	目標値	1,801
		大ホール		実績値	1,000
13	参加するホール～演ずる、創る、聴く「ソツリマと100チェロ」	2019年8月12日 他	出演：ジョバンニ・ソツリマ(チェロ)、エンリコ・メロツツィ(チェロ)、100人のチェリスト(公募) ※みんなで歌おう第九コンサート中止	目標値	2,400
		大ホール		実績値	1,500

番号	事業名	主な実施日程	概要 (演目、主な出演者、スタッフ等)	入場者・参加者数	
		主な実施会場		目標値	実績値
14	トリフォニーホール・セレクション 2019「ラトヴィア放送合唱団」	2019年6月2日	出演：シグヴァルズ・クラーヴァ(指揮)、ラトヴィア放送合唱団 他	目標値	1,200
		大ホール		実績値	700
15	尾上菊之助×新日本フィルハーモニー交響楽団「鷺姫と白鳥の湖」	2019年8月27日	出演：尾上菊之助(舞踊・語り)、角田鋼亮(指揮)、新日本フィルハーモニー交響楽団	目標値	1,200
		大ホール		実績値	950

※ …新型コロナウイルス感染症の影響があったもの

(6) 平成30年度実施事業一覧

番号	事業名	主な実施日程	概要 (演目、主な出演者、スタッフ等)	入場者・参加者数	
		主な実施会場		目標値	実績値
1	すみだ平和祈念音楽祭 2019	2019年3月2日 他	出演：マックス・リヒター(ピアノ・エレクトロニクス)、ダニエル・ハーディング(指揮)、マーラー・チェンバー・オーケストラ 他	目標値	7,000
		大ホール		実績値	4,378
2	新日本フィルの生オケ・シネマ 2018	2018年5月26日 他	出演：ティモシー・ブロック(指揮)、新日本フィルハーモニー交響楽団、山田雅人(お話) 他	目標値	5,000
		大・小ホール		実績値	1,960
3	トン・コープマン・プロジェクト 2019	2018年9月6日 他	出演：トン・コープマン(指揮)、新日本フィルハーモニー交響楽団	目標値	1,800
		大ホール		実績値	2,613
4	トリフォニーホール・グレイ ト・ピアニスト・シリーズ 2018	2018年8月1日 他	出演：ネルソン・フレイレ、ファジル・サイ、新日本フィルハーモニー交響楽団、マルティン・シュタットフェルト、エリソ・ヴィルサラゼ	目標値	4,800
		大ホール		実績値	3,300
5	トリフォニーホール・《ゴル トベルク変奏曲》シリーズ 2018	2018年12月10日	出演：マハン・エスファハニ(チェンバロ)、川瀬賢太郎(指揮)、日本センチュリー交響楽団	目標値	1,000
		大ホール		実績値	499
6	トリフォニーホール・グレイ ト・ヴァイオリニスト・シ リーズ 2018/19	2018年10月21日	出演：ヴィクトリア・ムローヴァ(ヴァイオリン)	目標値	1,000
		大ホール		実績値	754
7	トリフォニーホール・グレイ ト・オーケストラ・シ リーズ 2019	2019年2月11日	出演：テオドール・クルレンツィス(指揮)、パトリツィア・コパチンスカヤ(ヴァイオリン)、ムジカエテルナ	目標値	1,200
		大ホール		実績値	1,760
8	トリフォニーホール・ジュ ニア・オーケストラ	2019年3月25日 他	出演：松尾葉子(指揮)、吉見友貴(ピアノ)、トリフォニーホール・ジュニア・オーケストラ	目標値	5,000
		大ホール		実績値	5,794
9	すみだ音楽祭 2018	2018年8月19日 他	出演：区内で活動する音楽団体等(28団体)	目標値	12,000
		大・小ホール		実績値	9,145
10	新日本フィル・アウトリーチ・ プログラム	2018年10月21日 他	出演：新日本フィルハーモニー交響楽団団員	目標値	8,000
		小中学校、福祉施設		実績値	7,174
11	下野竜也プレゼンツ！音楽の 魅力発見プロジェクト	2018年8月12日	出演：下野竜也(指揮)、新日本フィルハーモニー交響楽団	目標値	1,500
		大ホール		実績値	1,300
12	新日本フィル・ニューイヤー・ コンサート 2019in すみだ曳 舟	2019年1月4日	出演：五街道雲助(落語)、円光寺雅彦(指揮)、中須美喜(ソプラノ)、太平倍大(テノール)、新日本フィル	目標値	400
		曳舟文化センター		実績値	535
13	トリフォニーホール《クリ スマス・オルガン・コン サート》 2018	2018年12月22日	出演：シモン・ボレノ(オルガニスト)、きりく・ハンドベルアンサンブル(ハンドベル)	目標値	1,000
		大ホール		実績値	1,635
14	トリフォニーホール《 ホール・オープン・デー 》2018/19	2018年8月5日	出演：新日本フィルハーモニー交響楽団団員	目標値	300
		大・小ホール		実績値	85

番号	事業名	主な実施日程	概要 (演目、主な出演者、スタッフ等)	入場者・参加者数	
		主な実施会場		目標値	実績値
15	バックステージツアー&オルガン・コンサート	2018年9月9日 他	出演：阿部翠(オルガニスト)、棚瀬紫織(オルガニスト)、内田光音(オルガニスト)、木村理佐(オルガニスト)	目標値	200
		大ホール		実績値	190

## 2. 自己評価

### (1) 妥当性 (平成30年～令和4年度 5か年分)

#### 自己評価

事業計画に必要な構成要素が有機的に連関し、当初の予定通りに事業が実施できたか。

平成30年度から5年間のトリフォニーホールをめぐる動き・取り組み

年度	トリフォニーホール、墨田区、新日本フィル関連	その他
平成30年度	文化庁「劇場・音楽堂等機能強化推進事業(令和4年までの5年間支援)	
平成31年度		
令和2年度	財団の新体制、新理事長就任(令和2年7月～) 墨田区、ホール、新日本フィル三者の幹部による定例会議のスタート 墨田区議会議員との意見交換会スタート	新型コロナウイルス感染拡大による臨時休館(4月～6月)
令和3年度	第4期指定管理者開始(令和3年4月～令和8年3月まで) 音楽事業推進補助事業スタート 音楽事業エグゼクティブ・アドバイザー トリフォニーホール区民モニター制度導入	新型コロナウイルス感染拡大による臨時休館(4～5月)
令和4年度	墨田区基本計画改定 新理事長就任(令和4年7月～) すみだトリフォニーホール開館25周年 新日本フィル創立50周年 佐渡裕氏、すみだ音楽大使・新日本フィル・ミュージック・アドバイザー就任 (令和5年度～音楽監督)	

当ホールは東京東部地域の音楽文化の拠点であること、日本初の本格的なフランチャイズ制度により新日本フィルハーモニー交響楽団が活動の本拠地としていることが大きな特徴である。多彩な事業の展開を可能にするフランチャイズ・オケの存在や開館以来ホールを支えるテクニカルスタッフ、東京の東の中心地、墨田区錦糸町という恵まれた立地特性、優れた音響特性やパイプオルガン、建物と一体となったアート作品、特色ある建築設計などを生かして、質の高い事業をホール内外で展開し、すみだの地域力向上に資することを目指してきた。

墨田区が昭和63年3月に掲げた音楽都市構想を発端として、同年7月に新日本フィルハーモニー交響楽団とフランチャイズ提携を締結。平成9年には、世界屈指の音響設備を有する「すみだトリフォニーホール」をオープンし、三位一体となって事業を推進している。ホールでの上質な鑑賞事業を実施するとともに、教育機関、福祉施設等と連動した地域における音楽活動を積極的に実施し、あらゆる区民に音楽を届け、地域力の向上に努めている。

平成30年度からの5か年においても、この関係を基に事業を進めてきた。

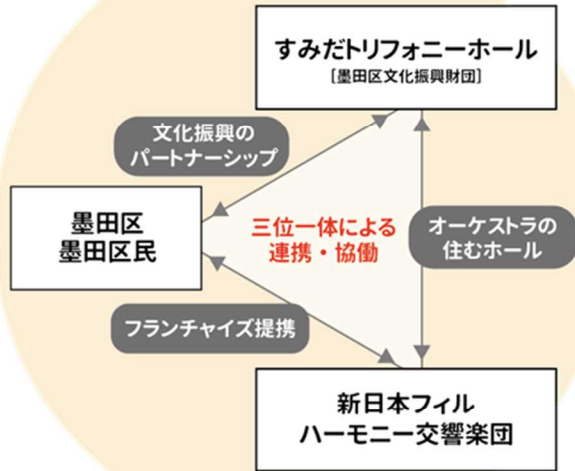
#### ◆平成30年～令和4年の取り組みについて

平成30～令和元年度においては、施設の特性を生かして、連携を図りながら計画に沿って事業を進めていった。

令和2年度は、令和元年度末に発生した新型コロナウイルス感染拡大に伴い、4月8日(水)から6月21日(日)まで臨時休館となった。再開後も客席収容率の制限や外来アーティストの来日不可などの影響を受けたが、オーケストラのフランチャイズ制度の強みを生かして、ほとんどの事業を実施、組織の新体制により、三位一体の関係強化、地域の産業界などとの関係構築により、ホールの現状や、地域課題の解決事業の発展に向けた新たな事業展開を検討し始めた。令和3年度については、令和2年度の検討を具体化し、リラックス・コンサートなどあらゆる区民を対象とした事業や、学校の部活動、音楽教諭を対象したアウトリーチ事業を新たに展開しながら、ほとんどの事業を計画通り進めた。

開館25周年となる令和4年度については、新たに就任した新理事長の元、ホールの取り組みを区内外にPRすることに重点を置き、25周年記念事業ほか、墨田区民に向けた様々な事業を展開し、令和2～3年度に新たにスタートした事業を本格展開し、区民をはじめとする多くの方々に参加いただけるよう計画を推進していった。

## 構成要素の関連図



三位一体の組織体制によって、連携・協働、情報共有が常日頃からおこなわれ、事業計画時の意思決定など、スピード感を持って効果・効率的にできる。

- 地域密着型企画事業**  
映画と音楽を楽しむ  
生オケ・シネマ
- 文化芸術創造発信型企画事業**  
国内外の指揮者、ソリスト等が  
集う平和祈念音楽祭  
  
世界第一級の演奏家を招く  
「スーパーソリスト  
meets 新日本フィル」
- ブランドイメージ形成**  
海外からの招聘アーティストを  
活用するグレート・ピアニスト  
グレート・ヴァイオリニスト等の  
シリーズ企画
- アウトリーチプログラム**  
体育館等でのコミュニティコンサート、  
小中学生向けの音楽指導  
福祉施設等での  
ふれあいコンサート
- ジュニア・オーケストラ**  
障害者等を招く  
「誰でもコンサート」の開催
- 地域連携**  
すみだ音楽祭  
すみだストリートジャズフェスティバル

- あらゆる区民
- 教育機関
- 福祉施設
- 文化団体
- 東京圏からの  
来館者  
利用者

### 《関連による注目ポイント》

・佐渡裕氏の「すみだ音楽大使」「新日本フィルミュージック・アドバイザー」就任における協働  
佐渡裕氏がプロデュースする事業やPR動画等の展開を、ホール、新日本フィル、墨田区の三者が一体的におこなうことで、事業の連動や発信力が有機的に拡大し、国内外に広く周知することができている。



佐渡裕等身大パネル  
区内公共施設、区立学校全  
校に設置、あらゆる所でPR



すみだ佐渡さんぽ  
(新日本フィル youtube)



開館 25 周年、新  
日本フィル 50 周  
年のフラッグ設置



#67 音楽都市・すみだ 新たな輪開け〜すみだトリフォニーホール開館  
25周年〜【特集】  
墨田区公式 youtube トリフォニーホ  
ール特集

・区内全域を対象としたアウトリーチ・プログラムの継続による実績と発展  
フランチャイズ・オーケストラの新日本フィルと協働して、1988年から継続しているアウトリーチ活動については、区民に音楽などの鑑賞機会と音楽活動の場を提供することを念頭に置き、区民、ホール、新日本フィル三者がミッションを共有し、小中学校をはじめ、区内施設の利用、事業の計画、実施を三者が分担しながら事業を進めている。長期にわたって積み重ねた信頼関係によって、新型コロナウイルス感染拡大時においても、開催時期や会場変更の調整、対策を行うことで、ほとんどの事業を中止せずに進めることができた。  
令和3年度にあらたに導入した区民モニター制度により、区内全域のモニターに対しておこなったアンケートで、「アウトリーチ事業により、あなたご自身や、あなたの家族、友人、知人など周囲の方々の中でのエピソードや地域の変化にはどのようなものがありますか」という設問の回答をみると、  
・アウトリーチ活動は、区内の幅広い層に生の音楽を届けており、区全体の活性化につながっている(43.9%)  
・音楽や新日本フィルについての話題が良く出る、または良く耳にする(38.0%)  
が上位を占めており、音楽がいつも身近にある生活の変化を肯定的にとらえ、アウトリーチの効果は音楽文化だけでなく、地域社会や区全体の活力を生み出していることがわかる。

## 自己評価

助成に値する文化的、社会的、経済的意義等が継続して認められるか。

### 文化的意義:

1988年の墨田区と新日本フィルハーモニー交響楽団とのフランチャイズ提携に基づき、1989年から30年以上にわたり実施しているアウトリーチ・プログラムでは、毎年、区内の全小中学校をはじめ、学校体育館や施設等で、これまでに200,000人以上の区民へ生の音楽を届け続けており、平成30年度～令和4年度においても5年間で34,577人に対して事業をおこなっている。日常生活の中で音楽に身近に気軽に触れられる環境を提供できているといえる。

### 社会的意義:

これまで、教育・福祉・子育て支援などの行政課題の解決や、世代、地域を超えた人と人とのつながりを形成する事業に積極的に取り組んできた。事業がもたらした地域社会への活性化について、

令和3年度区民モニターアンケートにて「これらの事業が地域社会へどのような変化をもたらしたと思いますか」の設問に対し

「心の豊かさや生きる活力を生んでいる」(72.2%)

「教育環境の充実と子どもの成長に役立っている」(62.0%)

「まちの賑わいと憩いの場が増えている」(50.2%)

といった意見が上位を占めており、地域社会の活性化に貢献したといえる。

### 経済的意義:

令和3年度区民モニターアンケート結果によると、近年の文化庁による支援の取組みの効果として、「墨田区を訪れる人の増加と経済効果」(72.7%)、「墨田区や錦糸町のイメージアップ」(86.8%)となっている。また、近年住みやすい街として人気の高まる錦糸町地域や東京スカイツリー近辺に高層マンションの建設が相次いだことで、区内の人口が増加している。(人口推移…平成12年215,979人→平成30年4月269,815人→令和5年4月282,085人 5年間で12,270人増加)

コロナ禍による伸び率の減少はあるが、令和4年～5年にかけての事業実施による集客増と、人口増加の伸び率と連動しており、間接的にホールが取り組む事業の効果はあると思われる。

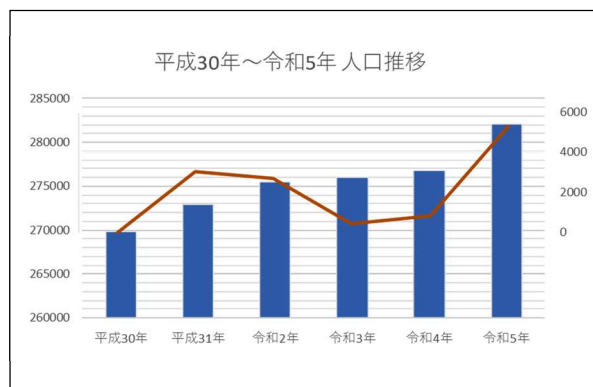
それら地域の大規模商業施設や、地元商店や企業で構成される「錦糸町を元気にする会」はじめ、商店街連合会、商工会議所などと連携し、協力関係を構築している。

### 人口状況



(国勢調査)

### 助成対象期間 平成30年～ 人口状況



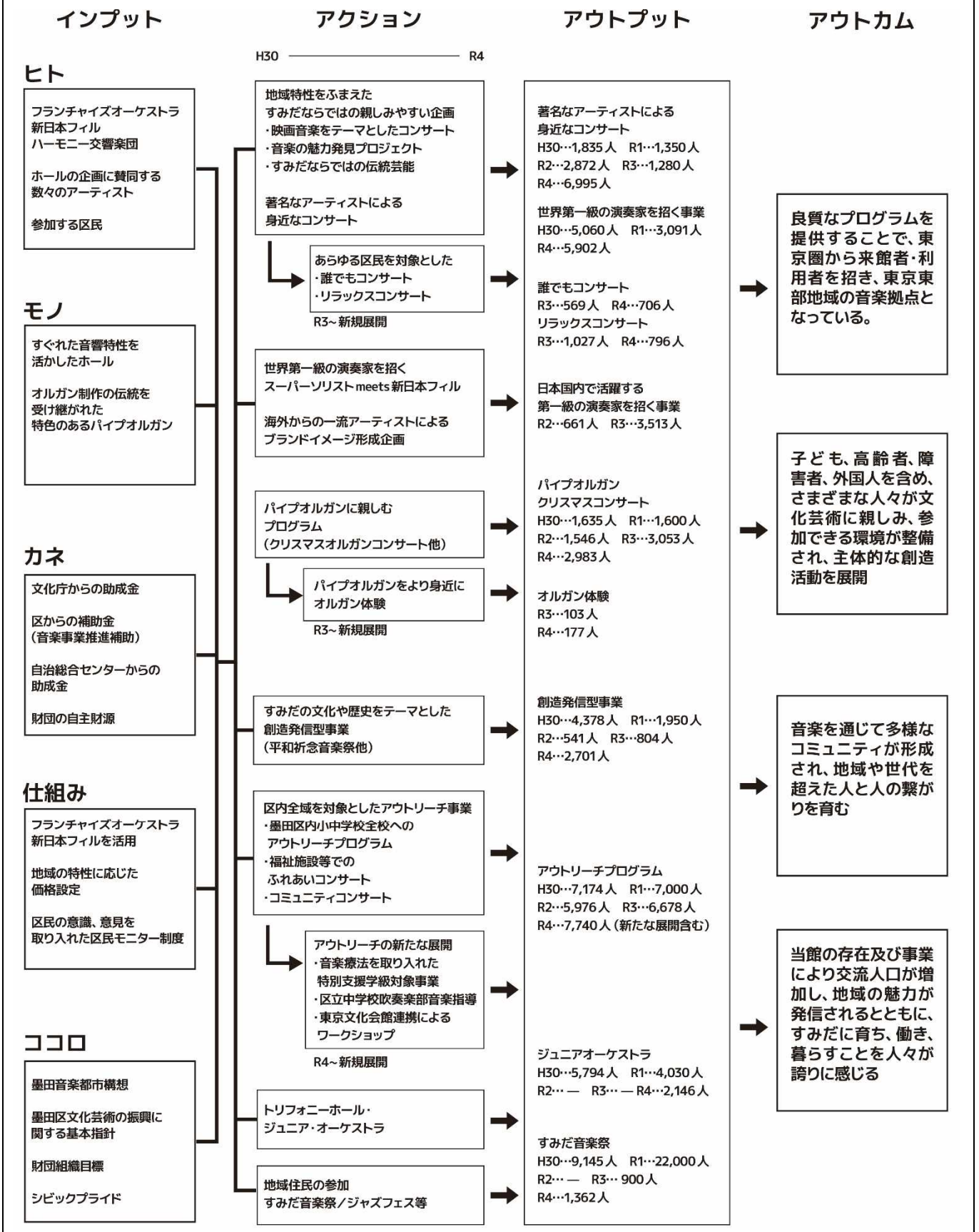
(墨田区住民基本台帳より)

(2) 有効性 (平成30年~令和4年度 5か年分)

自己評価

目標を達成し、アウトカムが発現したか。

●平成30年~令和4年度のロジックモデル





平成 30 年～令和 4 年において、当初計画によるアクションプランに基づき事業を実施し、以下のようなアウトカムが発現している。

#### ●東京東部地域の音楽文化拠点の確立

フランチャイズ・オーケストラの新日本フィルハーモニー交響楽団を活用、ホールのすぐれた音響特性を活かし、世界第一級の演奏家や、日本国内で活躍する第一級の演奏家、著名なアーティストによる身近なコンサートなど、良質なプログラムを提供することによって、錦糸町が大きくイメージアップし、開館当初に掲げた東京東部地域の音楽文化の拠点としての地位を確立している。

#### ●あらゆる人々が文化芸術に親しみ、参加、主体的な創造活動を展開

墨田区内小中学校全校への音楽指導事業、福祉施設等でのふれあいコンサートといった、墨田区内の各地域でのアウトリーチ・プログラムを継続して実施していることにより、毎年 7,000 人程度の区民が参加している。

令和 4 年度からは音楽療法を用いた事業展開、区立中学校吹奏楽部への音楽指導など、これまでのアウトリーチ活動の幅を広げている。

誰でもコンサートやリラックス・コンサート等にて、ホールでの鑑賞のハードルを下げ、子ども、高齢者、障害者、外国人など様々な人の気軽な鑑賞機会の場を新たに設けている。

また、特色のあるパイプオルガンを区民に広く親しんでもらうため、オルガン・コンサート&バックステージ・ツアー、身近に感じてもらうオルガン体験教室によって、芸術に触れる機会を増やしてきた。

こうした事業を広く展開したことにより、あらゆる人々が文化芸術に親しみ、参加する機会が増加している。また、すみだ音楽祭での出演や参加、子どもたちの自主的な取り組み(「錦糸町を笑顔にしようプロジェクト」、「すみだっ子の夢支援プロジェクト」)など、主体的な創造活動につながっている。

#### ●地域や世代を超えた人と人の繋がり

すみだの文化や歴史をテーマとして、音楽を通じて世代を繋げていく平和祈念音楽祭や、地域住民が参加するすみだ音楽祭(平成 30 年度 9,145 人 令和元年度 22,000 人)、地域住民が主体的となって演奏会を進めていくコミュニティコンサートを実施してきたことによって、地域や世代を超えた人と人の繋がりが生まれている。

#### ●交流人口の増加と地域の魅力発信

近年のトリフォニーホール・チケットメンバーズへの入会状況を見ると、平成 29 年度の時点で 14,857 人だった会員数が、令和 4 年度には 85%増加し、27,493 人となっている。多くは墨田区民の会員増であるが、墨田区民以外の入会状況を見ると、平成 29 年が 13,604 人に対し、令和 4 年度は 24,295 人となっており 78%増加している。

また、区民モニターによるアンケートにおいて、「文化芸術が人々の暮らしにもたらす効果」について、トリフォニーホールは墨田区においてどのような効果をもたらしていると思いますか」といった設問に対し、

墨田区や錦糸町のイメージアップにつながっている…86.8%

墨田区はもとより、東京東部地域の芸術文化の拠点となっている…53.2%

トリフォニーホールが墨田区のシンボルの役割を担い墨田区を国内外に発信している…45.9%

となっており、著名なアーティストによる身近なコンサート、国内外の第一級の演奏家による公演、すみだの文化や歴史をテーマとした創造発信型事業やあらゆる区民を対象としたコンサートなど様々なプログラムを提供してきた結果、交流人口が増加し、訪れたい街として墨田の魅力が向上し、墨田区や錦糸町の街のイメージアップにつながり、すみだに育ち、働き、暮らすことを人々が誇りに感じている。

●5年間にわたるアウトカム発現

開館当初からシリーズとして行ってきた事業については、途中、当初の目標を達成できなかったものがいくつかあり、事業を行っていくうえで客観的な情報を取り入れながら計画を進める必要があると思われた。そこで令和3年度より区民モニター制度を取り入れ、区民の意向を幅広い視点から多岐にわたる項目について調査し、その結果を検証しながら、あらゆる区民が音楽を中心とした文化芸術を身近に感じる事業展開を図った。

その結果、最終年度である令和4年度には開館 25 周年事業をはじめとして、事業全体で参加増となり目標を達成した。公演アンケートの満足度や意見、区民モニターからも高い評価を得ることができている。今後、区民を中心に、より開かれたホールを目指しながら、これまで培ってきたホールのブランドイメージを保ちながら積極的な事業展開を進めていくことが、すみだの地域力向上を進めるうえで肝要であると考えている。

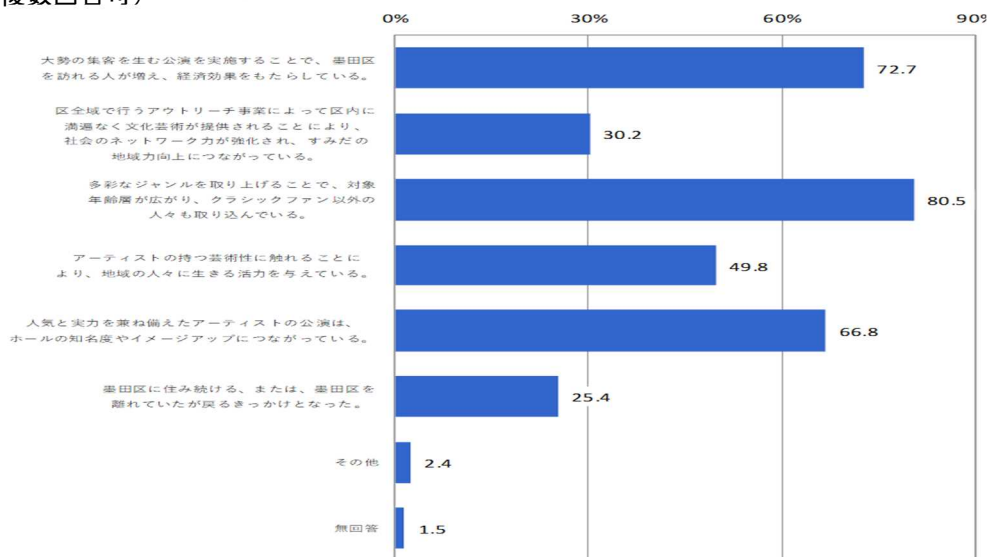
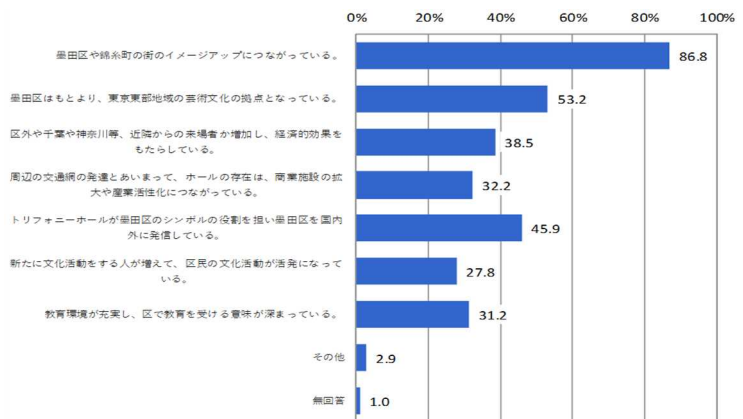
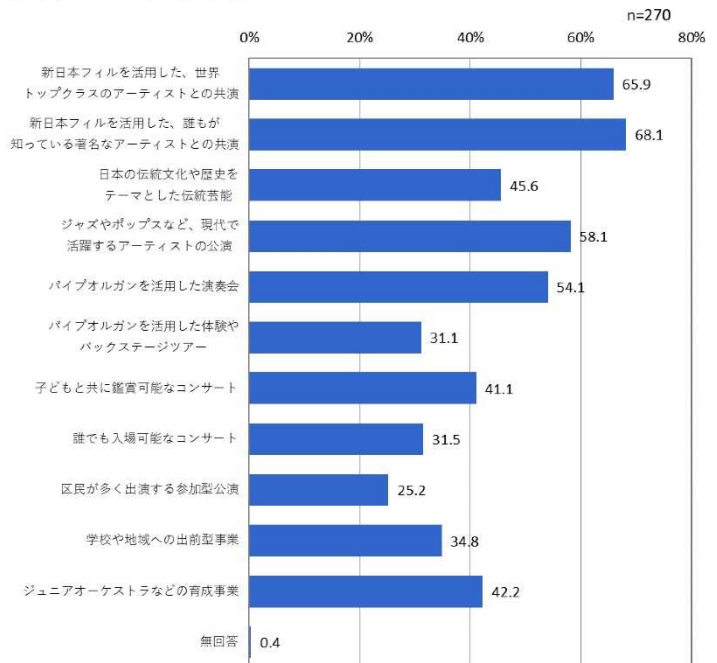
<令和3年度におこなった区民モニターによるアンケート>

開館以来、トリフォニーホールは音楽都市構想の下、「区民に音楽などの鑑賞機会と音楽活動の場をつくり、芸術文化事業によって、文化的に豊かなまちづくりをめざす」ことを目的に事業を展開してきました。現在、トリフォニーホールは墨田区においてどのような効果をもたらしていると思いますか。(複数回答可)

文化庁の支援による近年の取り組みについて、どのような効果が生まれましたか(複数回答可)

<令和4年度におこなった区民モニターアンケート>

Q14 トリフォニーホールは 1997 年の開館以来 25 年間にわたり様々な事業をおこなってきました。これから 30 周年へと向かっていく中で、これまでの活動をふまえ今後の 5 年間に重点的に取り組むべき事業はどのようなことと思いますか。ご意見をお聞かせください。(回答はいくつでも)



### (3) 効率性 (平成30年～令和4年度 5か年分)

#### 自己評価

アウトプットに対して、事業期間が適切で、当初の計画通りに実施できたか。

#### ■公演の実施状況(平成30年度～令和4年度)

年度	申請事業数	実施状況	新型コロナウイルス感染拡大の影響
平成30年度	15事業	公演事業 5月26日～3月13日 アウトリーチ・プログラム 6月12日～3月15日	
平成31年度 (令和元年度)	15事業	公演事業 5月25日～1月20日 アウトリーチ・プログラム 7月8日～3月19日	影響を受けた事業：1事業 └中止となった事業：1事業
令和2年度	15事業	公演事業 8月10日～3月17日 アウトリーチ・プログラム 7月13日～3月30日	休館：4月8日～6月21日 影響を受けた事業：14事業 └収容率制限の影響を受けた事業：3事業 └内容を変更して実施した事業：8事業 └中止となった事業：3事業
令和3年度	18事業	公演事業 6月29日～3月12日 アウトリーチ・プログラム 6月2日～3月8日	休館：4月25日～5月11日 影響を受けた事業：9事業 └内容を変更して実施した事業：7事業 └中止となった事業：2事業
令和4年度	17事業	公演事業 5月7日～3月11日 アウトリーチ・プログラム 6月24日～3月27日	

平成30年度は公演事業において5月26日～3月13日まで年間を通して実施し、アウトリーチ・プログラムは6月12日に始動し、3月15日まで55か所でおこない、概ね計画通りに進んでいる。

平成31年度(令和元年度)は、公演事業を5月25日に開始したが、年度末に国内で新型コロナウイルスによる感染が発生、拡大により、3月の事業が中止となった。アウトリーチ・プログラムは、7月8日から3月19日までの間46か所にておこなっており、新型コロナウイルス感染拡大の影響をほぼ受けずに実施できた。

令和2年度は前年度末からの新型コロナウイルス感染症が拡大し、緊急事態宣言のもと4月8日～6月21日までの間臨時休館となった。再開後、8月10日～3月17日までの期間に事業を実施したが、ほぼすべての公演事業に収容率制限や日程変更、出演者変更等の影響が出ている。その影響下においてもフランチャイズの有利性を活かし、新日本フィルと協働して事業再開に向けた取り組みを早期より進め、感染対策を徹底して演奏会を再開することができた。また予定されていたほとんどの事業を実施し、3事業の中止に留めた。また、アウトリーチ・プログラムについては、新日本フィルと共に、学校や福祉施設等との丁寧な打合せ、感染症対策を会場に合わせて行うことで、7月13日～3月30日の間、55か所、ほぼ計画通りに実施できている。

令和3年度は、令和2年度に引き続き新型コロナウイルス感染拡大の影響があり、4月25日～5月11日に臨時休館となったが、公演事業は6月29日～3月12日までの間に開催した。前年度の経験を生かしてフランチャイズ・オーケストラなどときめ細かな調整をしていくことで、2事業の中止に留めている。アウトリーチ・プログラムは6月2日～3月8日で52か所開催し、概ね計画通りに進めることができた。

令和4年度は一部に集客面での制限はあったものの多くは計画通りにおこなうことができた。

以上のことから、平成30年～令和4年の5年間は、途中から新型コロナウイルス感染拡大の影響を受けたが、日程変更や出演者の調整、代替公演の実施など、様々な創意工夫を図り、事業の中止を最小限に留め、開館25周年となる最終年度においてはこれまでの事業実績を基に展開、集大成となる事業の実施ができている。

また、アウトリーチ・プログラムについては、フランチャイズ制度を活かした長年の活動実績による信頼関係によって、コロナ禍においても概ね計画通り事業を進められている。

## 自己評価

アウトプットに対して、事業費が適切で、当初の計画通りに実施できたか。

平成 30 年度については、公演事業は 42,200 人の目標値に対し、33,948 人の実績となっている。アウトリーチ・プログラムについては、8,000 人の予定に対し 7,174 人であった。

平成 31 年度については、公演事業 38,801 人の目標値に対し、37,777 人の実績となった。すみだ音楽祭の入場者数大幅増などによって、目標を超える実績値を想定していたが、新型コロナウイルス感染拡大により平和祈念音楽祭が中止となり集客に影響がでている。アウトリーチ・プログラムの参加は 8,000 人の予定に対し、7,000 人となっている。

令和 2 年度は、前年度より新型コロナウイルス感染拡大が続き、収容率制限、チケット販売期間等制限の影響を受け、集客が伸び悩むこととなった。また、区民を中心としたすみだ音楽祭が中止となり、公演事業の入場者数は 24,960 人の目標値に対し、7,552 人に留まることとなった。アウトリーチ・プログラムは計画当初は新型コロナウイルス感染拡大に伴い、規模を縮小して計画せざるを得ないと想定していたが、フランチャイズ制度の強みを生かし、これまでの事業実績を基に関係各所が強固な協力体制を築いてきたことにより、ほとんど中止をせずに開催でき、5,000 人の目標に対し 5,976 人が参加し目標を超える実績を残すことができた。

令和 3 年度は、令和 2 年度と同様、新型コロナウイルス感染拡大の影響を受けた。公演等の事業は 26,540 人の目標値に対し、11,636 人の実績値となっている。そうした状況下において、来日できない海外のアーティストに代わる魅力的な国内アーティストを起用、日本国内での移動規制がかかっている中で地元住民をターゲットとした広報展開など、コロナ禍での創意工夫をした結果、多くの区民の来場につながった公演もあった。アウトリーチ・プログラムは、7,400 人の参加者予定に対し、6,678 人となっている。

令和 4 年度は、公演等の事業は 30,470 人の目標値に対し、21,651 人の実績値となっている。夏に新型コロナウイルスの感染が再拡大した時期に実施した「誰でもコンサート」については、感染リスクを懸念して来場を控える障害者施設関係者が多く、入場目標値を下回った。また区民の参加主体となるすみだ音楽祭については出演者および集客の制限が発生し、当初の計画よりも大きく減少となった。

これらを除いた公演事業の合計は、19,470 人の目標に対し 19,583 人と目標を超えることとなり、開館 25 周年事業ほか、多くの公演で実績を上げることができた。アウトリーチ・プログラムは、7,400 人の参加者予定に対し 7,749 人となっており、こちらも予定通り進めることができた。

平成 30 年度～令和 4 年度の 5 年間について、各年度の入場者、参加者は当初計画における想定とは異なり、結果的に令和元年度に発生した新型コロナウイルス感染拡大の影響を大きく受けることとなった。こうした状況下にあっても、各々の公演については日程変更や出演者調整、代替公演の実施などの創意工夫を図り、集客に努めて一定の成果を上げた。特に最終年度については、感染状況が変化する中でもこれまでのコロナウイルス感染対策の積み重ねによって、ほとんど平常時と同等に多くの参加者、来場者を迎え、アウトリーチ・プログラムは、すみだ独自のフランチャイズ制度によって長年にわたって積み重ねてきたノウハウや関係者の信頼関係により、5年間概ね計画通りに進み、事業費も適切に実施することができた。

## (4) 創造性 (平成30年～令和4年度 5か年分)

### 自己評価

事業計画の内容が、独創性、新規性、先導性に優れている (と認められる) か。

#### ■フランチャイズ・オーケストラ 新日本フィルハーモニー交響楽団の存在

昭和 63 年に墨田区と新日本フィルハーモニー交響楽団(以下新日本フィル)との間で締結した我が国初のフランチャイズ提携に基づき、同楽団はすみだトリフォニーホールを活動拠点として音楽芸術を発信し地域への貢献に尽力している。締結以来、オーケストラが「住む」トリフォニーホールは、新日本フィルと協働で多彩な公演を実施するとともに、区内全域の小中学校や保育園、福祉施設、コミュニティセンターなど、さまざまな場でアウトリーチ活動を行い、多くの区民が音楽に出会える環境を創出してきた。フランチャイズ・オーケストラ制度がルーツとなり、ホール、オーケストラ、区民が三位一体となった「芸術文化の創造」および「地域社会への還元」という先導的な取り組みを行ってきた。

平成 31 年から感染拡大している新型コロナウイルスの影響により事業の実施に制約を受けたが、そのような状況の中でもフランチャイズ・オーケストラである強力なパートナー、新日本フィルとの協働事業においては、出演者の変更や実施時期の見直しなど感染拡大防止に最大限配慮しながら区民が音楽芸術に触れる機会を積極的に提供した。全国に先駆けて導入したフランチャイズ制度の強みが発揮されたといえる。また令和 5 年 4 月より新日本フィルの第5代音楽監督に就任した佐渡裕氏は、墨田区の「すみだ音楽大使」の任命も受け、今後、ホール、オーケストラ、区民の三位一体がさらに強化されすみだの魅力を国内外へ発信するキーパーソンとして大きな期待が寄せられている。

#### ■新日本フィルとの独創性、新規性に優れた取り組み

令和5年にトリフォニーホールは開館 25 周年、新日本フィルは創立 50 周年の節目の年を迎え、すみだ音楽大使の佐渡裕氏のもと区民参加型の周年記念事業を実施した。「10 月 26 日アニバーサリーウィーク vol.1」はブラスの祭典とし、第1部に墨田区立中学校全 10 校約 150 名の吹奏楽部員が一堂に会し公開バンドクリニックを実施。各校で練習してきた「アフリカン・シンフォニー」をこの日初めて大編成で合奏。最初は緊張で弱々しかった音色も、佐渡氏のアドバイスを受け見違えるように変化を遂げ、最後はクリニックの成果を発揮した。「10 月 29 日、30 日アニバーサリーウィーク vol.2」は、「すみだの第九」をメインに実施。オーディションを経て結成された区民による 25 周年記念合唱団が数か月間にわたる練習の成果を佐渡裕指揮、新日本フィルの演奏で披露した。ホール誕生の契機ともなったベートーヴェンの第九が高らかに響きわたり、ホール、新日本フィル、区民が一体となって創り上げる周年記念事業は高く評価された。

関東大震災や東京大空襲で甚大な被害を受けた墨田区のホールの使命として開館当初から実施しているすみだ平和祈念事業では、関連事業にアウトリーチ・プログラムを用意している。指揮者自らがアウトリーチに参加していることが特筆すべき点であり、令和元年に新日本フィルの前音楽監督上岡敏之氏が区立小学校での授業、令和 3 年には東武博物館において秋山和慶氏が空襲の体験者として平和の尊さを語り、令和 4 年は下野竜也氏が区立小学校 2 校に出向き、令和 5 年は第 3 代音楽監督のクリスティアン・アルミンク氏が児童に向けて平和と音楽の重要性を伝えている。

また「音楽の魅力発見プロジェクト」は、指揮者下野竜也氏によるレクチャーと演奏が楽しめる内容として 2013 年より毎年実施している人気シリーズである。ベートーヴェン全交響曲の第一楽章のみを演奏し作曲家の生涯を音楽で理解する企画や、NHK 大河ドラマのテーマ曲に着目して作曲家の意図を探るなど、独創的な展開が毎回話題を呼んでいる。区民モニターアンケートにおいても「さらに機会を増やすなど積極的に実施すべき」「今後も今の内容で実施すべき」などの継続実施を希望する声が 96.6%に上るなど、高い評価を受けている。

#### ■歩みを止めない新日本フィルのアウトリーチ活動の先導性

平成元年より墨田区内での活動をスタートさせたアウトリーチ・プログラムは 30 年以上にわたり継続され、現在、区立小中学校全 36 校、高齢者施設、障害者施設、児童館、墨田区役所等約 18 か所など、区内のすべての区立小中学校や各種施設で実施している。

## 自己評価

事業の実施によって、当該劇場・音楽堂等の国内外での評価の向上につなげた（と認められる）か。

その活動量と継続性は他に類を見ない圧倒的な実績を誇る。新型コロナウイルスの影響により令和元年度には 8 か所の中止が余儀なくされたが、令和 2 年度は十分な感染対策を講じた結果、中止はわずか 1 か所にとどまり、令和 3 年度以降は予定していたすべてのアウトリーチ・プログラムを実施することができた。学校や施設の多くの行事が中止となる中、安全第一を目標に工夫した結果であり、長年のアウトリーチ活動により蓄積された地域との信頼関係がより強固なものとして確立された。いかなる困難な状況においても歩みを止めないアウトリーチ活動は、今後さらに可能性を広げ進化する事業として先導性を見出すことができる。

### ■新たなアウトリーチ・プログラムの拡充

すみだトリフォニーホールが墨田区立全小中学校と 30 年にわたり蓄積してきた信頼関係を生かし、助成対象事業のあらたな取り組みとして令和 5 年度より、特別支援学級児童を対象とした新日本フィル楽員による特別授業「音楽療法を取り入れたアウトリーチ」を開始した。この授業では同一の対象者に向け 2 時間の授業を全 4 回、ほぼ連続した日程で実施することにより、音楽の特性を用いて対象者の身体面・精神面・社会面に働きかけ、心身機能の維持・改善と生活の質を促進することなどを目的としている。本事業により、集中力や積極性が向上するなど、学校生活においてプラスの効果をもたらす結果が表れ、専門医による効果測定でも、「音楽の授業を通して身体の協応も行う機会が得られたことが特別支援学級の児童たちにとって課題となりやすい社会性や身体協応を促すことに役立った」との高評があった。また中学校部活動の地域移行の支援に向けて新日本フィル楽員による区立中学校吹奏楽部への演奏指導の実施や、音楽の授業を支援する取り組みとして、東京文化会館と連携し区立全小学校の音楽教員に向けた「音楽づくりワークショップ」などの新しいアウトリーチ事業を展開している。長年にわたり地域に密着した関係を築き上げてきた当ホールのアウトリーチ・プログラムならではの新たな展開として、今後も社会的課題の解決に貢献を果たしていく。

### ■音楽ホールが開拓する伝統芸能、話芸の新規性

助成対象事業の新規展開として、これまであまり取り上げてこなかった伝統芸能分野から歌舞伎をはじめ、講談、漫談などの話芸にも焦点を当てて実施した。令和元年「尾上菊之助×新日本フィル」では墨田区寺島地区にルーツを持つ歌舞伎役者の尾上菊之助が、第一部では本格的な歌舞伎衣装を纏い幻想的な鷺娘を舞い、第二部の新日本フィルによるチャイコフスキー「白鳥の湖」演奏では語りとしてドラマティックな二羽の白き鳥を演じた。アコースティックなコンサートでの音響の良さには定評があるが、拡声すると明瞭に届けることが難しいとされてきた音声についても、全席にて遜色なく聞こえることが明らかになり、ホールにおける今後の事業展開の新たな可能性を引き出した。令和 4 年には、能・義太夫・歌舞伎の各界の第一人者がジャンルの垣根を越えて共演する、珍しいコラボレーションにより、地元墨田の特色を生かした、謡かたり「隅田川」を実施、多くの方々の称賛を得ている。また、区民モニターアンケートでも 98.3%がシリーズ企画として継続実施を望んでいる。

### ■SDGs の掲げる「誰一人取り残さない」独創性、先駆的な取り組み

「バックステージ・ツアー & オルガン・コンサート」は当初は視覚障害者、車いす利用者、一般参加者を対象としていたが SOUND HUG(サウンドハグ)などの活用により多様性を受容する内容へと進化させ、令和 3 年度には聴覚障害学級の児童、肢体不自由学級の児童生徒が参加するまでに発展した。

平成 30 年度、令和元年度は 1 日 1 公演だった「パイプオルガン・クリスマスコンサート」は、早々にチケットが売り切れる人気公演であったため、令和 2 年度より未就学児向け「0 歳からのオルガン・コンサート」、一般向け「しっかりじっくりオルガン・コンサート」の 2 本立てにし、日本最大級のパイプオルガンの魅力を幅広い世代に伝えることが可能となった。

障害者も乳幼児も高齢者も、誰もが一緒にコンサートを鑑賞できる「ようこそ！誰でもコンサート」や、産前産後の育児支援を目的に、子育てに関わる全ての世代に向けてリラックスできる音楽芸術を届ける、「ようこそ！リラックス・コンサート」などは、近年増えている子ども向けコンサートとは一線を画した独創性に優れた公演として大きな反響があった。これらの公演では「SOUND HUG」(サウンドハグ)、手話通訳や字幕、UD トーク、コミュニケーションボードを整備するなど、聴覚に障害のある方にも音楽を体感できる新規性、先導性の高い内容であり、墨田区が取り組んでいる「暮らし続けたいまち」「働き続けたいまち」「訪れたいまち」の実現に寄与する事業である。また、SDGs の掲げる「誰一人取り残さない」をテーマにした、すみだならではの先駆的な事例と言える。

### ■一流アーティストと新日本フィルの出会いがもたらす先導性

令和 3 年 8 月「新日本フィル・シンフォニック・ジャズ・コンサート Special guest 上原ひろみ」では、世界的に活躍する日本人アーティストと新日本フィルの融合が相互を高め合い、それぞれの魅力を新たに引き出すことに成功した先導性のある企画であった。また令和 5 年 10 月には、25th アニバーサリーウィーク事業の一環として「ラトヴィア放送合唱団 & 新日本フィル」を実施した。世界最高峰の精緻なハーモニーと新日本フィルが織りなすメロディーによって、優れた音響を誇るトリフォニーホールは豊かで荘厳なる祈りに包み込まれた。またアウトリーチ・プログラムとして区内の小学校を訪問し児童との合唱の交流を図るなど、国際理解教育の絶好の機会となった。いずれも来場者の満足度も高く、好評を得た創造性の高い公演となった。

### ■先導的な「体験」が深める音楽の魅力、楽器の魅力

令和 31 年 8 月に実施した「ソッリマと 100 人のチェリストたち」は、参加した 100 名近いチェリストとともに 3 日間かけて本番公演を作り上げる画期的な取り組みであった。世界的チェリストのジョバンニ・ソッリマ、エリンコ・メロツツイを招聘し、全国から公募による 10 歳から 80 歳までのプロやアマチュアのチェロ奏者約 129 名が、リハーサルからソッリマらとともに音楽を創り上げる体験を経て本番を迎えた。参加者には地元奏者もあり、そのネットワークを生かしてフリーペーパーに、リハーサルから本番までの様子がリアルタイムで連載された。ソッリマの唯一無二の自由な音楽表現に触発され、参加者は生き生きと音楽の喜びを表現し、熱狂的なステージとなった。この取組みは、弦楽器マガジン『サラサーテ』に特集が組まれるなど数多くのマスメディアや参加者らの SNS 発信により大きな話題となり、次回公演を熱望するほどの反響があった。

トリフォニーホールのパイプオルガンを区民が体験できる「オルガン体験教室 for すみだ」を令和 2 年度よりスタートさせた。パイプオルガン未経験者でも気軽に参加できる「1 日体験コース」と、ひとつの曲とじっくり向き合い、数回のレッスンを経て発表試演会まで行う「じっくり体験コース」の 2 種類のコースがあり、毎回応募が殺到し抽選にて選ばれた区民が体験している。いずれの参加者にとっても「鑑賞する楽器」から「演奏する楽器」へと変わり、パイプオルガンを通して区民とホールの距離が縮まった。要望に応え参加人数を増やす取り組みを行うなど、区民の財産でもあるパイプオルガンをもっと身近に感じてもらう事業に大きな期待が寄せられている。

・すみだの子ども向け「じっくり体験コース 夏休み自由研究スペシャル！2022」アンケートより

「オルガンは鍵盤の色が白黒反転していて、ストッパーがあることがピアノと違って難しくて面白い」

「将来に影響を与える体験だった」

### ■コロナ禍における地域住民からの評価向上

当ホールは、伝統文化の息づく墨田区の音楽ホールとして、国内外から来館者・利用者に広く知られる存在となっている。また助成対象事業の実施によって、地域の子ども、高齢者、障害者、外国人を含め多様な人々が文化芸術に親しみ、参加できる環境が整備され主体的な創造活動が展開されている。音楽芸術を通じて多様なコミュニティが形成され、

地域や世代を超えた人と人とのつながりが育まれており、ホールを拠点として交流人口が増加し、すみだの魅力が発信されている。すみだに育ち、働き、暮らすことを人々が誇りに感じている。

令和2年度はコロナ禍で様々な制約を受けた。不要不急の外出や長距離の移動を控えるよう要請が出されると、近隣で楽しめるイベントへのニーズが高まり多くの地域住民が来場した。当ホールが実施した親しみやすい公演が身近なホールで開催されたことで、墨田区をはじめとする地域住民のニーズに合致したと考えられる。感染症対策を徹底し、いち早く市松配席を採用するなど来場者が安心して鑑賞できる環境を整備した上、近隣の商店街とのタイアップなどで地元積極的にアピールし、新日本フィルと一体となって早期に公演を再開したことは、来場者アンケートに「久しぶりに楽しい時間を過ごせました」といった声が寄せられるなど、ホールへの評価向上につながったと考えられる。

令和4年度の来場者の居住地は、墨田区民が半数近くに上るうえ、7割以上がホール周辺地域からの来場となり、引き続き地元志向および区民の支持を得ていると考えられる。また、ホールに対する満足度は「たいへん満足している」「満足している」を併せて98%と高い数値であった。

#### 墨田区および周辺地域からの来場者の割合

平成30年度 51%[墨田区:25% 周辺区(江東区・台東区・足立区・葛飾区、江戸川区):10% 千葉県:15%]

令和2年度 69%[墨田区:33% 周辺区(江東区・台東区・足立区・葛飾区、江戸川区):19% 千葉県:17%]

令和3年度 71%[墨田区:49% 周辺区(江東区・台東区・足立区・葛飾区、江戸川区):14% 千葉県:8%]

令和4年度 74%[墨田区:47% 周辺区(江東区・台東区・足立区・葛飾区、江戸川区):18% 千葉県:9%]

### ■事業実施における評価

#### 「すみだ平和祈念音楽祭」

ホール開館以来毎年開催している平和祈念音楽祭。関東大震災と東京大空襲という二度の惨禍を経験した墨田区にとって、毎年、特別な意味をもつ3月に「すみだ平和祈念音楽祭」公演を開催している。惨禍により最大の犠牲を出した墨田区に建つコンサートホールとして、平和の尊さを音楽を通して国内外に伝えていくための重要なシリーズ企画である

・毎日新聞 平成31年3月25日掲載

ハーディング[指揮] マーラー・チェンバー・オーケストラ

「終了後に生じた長い長い沈黙の祈りは、「すみだ平和祈念音楽祭」の最終日でもあったこのコンサートの精神を、改めて聴衆に問いかけた。」

・朝日新聞 令和3年3月11日掲載

秋山和慶[指揮] 新日本フィルハーモニー交響楽団

指揮を務めた秋山和慶の自身の戦争体験を踏まえた平和へのコメント、この公演をはじめ当ホール主催ならびに新日本フィル主催の公演で実施した墨田区内の医療従事者、介護施設従事者への招待事業について掲載され高く評価された。

・朝日新聞 令和5年3月19日掲載

「東京大空襲とすみだ」上映会

映像の中で戦争体験者が語る証言は「凜として何の迷いもよどみもない。～70年という歳月は、途方もない体験を他者に届けるための作法を彼らの中に静かに育み続けていた」と平和の尊さを再認識する上映会であった。

#### 「25th アニバーサリーウィーク vol.1」

・Band Journal 令和5年1月号掲載

開館25周年を記念するコンサートのトップバッターに墨田区立中学校全10校吹奏楽部の合同バンドが登場し、佐渡裕氏によるバンドクリニックが実施されたことは、「音楽都市すみだ」ならではの企画であり、将来の音楽家を育成するためにも大変有意義な事業であったと高く評価された。



### 「トリフォニーホール《ゴルトベルク変奏曲》シリーズ」

2006年にスタートした、JS バッハの名曲「ゴルトベルク変奏曲」に、アーティストが思い思いの楽曲を組み合わせプロ  
グラムを構成する新規性に富んだシリーズ企画。現在まで14人のアーティストが出演し、様々な楽器による名演を聞か  
せている。

・朝日新聞 平成30年12月17日掲載

マハン・エスファハニ[チェンバロ] 川瀬賢太郎[指揮] 日本センチュリー交響楽団

「30の変奏すべてでよく遊んだ。やや硬質のクリアな響きは現代的。終盤にかけて、快速な曲はさらに速度を上  
げた。」

### 「ようこそ！リラックス・コンサート」

音楽文化を通じて、教育・福祉・子育て支援など、さまざまな行政分野における課題の解決に寄与することを目的に、令  
和3年にスタートし、シリーズ公演として実施していく。

・読売新聞 令和3年11月21日掲載

和田一樹[指揮] 中須美喜[ソプラノ] 新日本フィルハーモニー交響楽団

妻と2歳の長女と参加した記者自身の体験が掲載。「会場にはベビーカーが溢れ、まるで公園のような雰囲気。  
～会場を後にする親子連れが笑顔だった。」と高く評価された。

### ■公式サイト、公式 SNS などの状況

ホールの無料メルマガ会員組織「トリフォニーホール・チケットメンバーズ」について、墨田区民の新規加入者は例年  
150人程度で推移してきたが、令和2年度は2倍を超える400人以上、その後も500人以上の新規加入があった。助成  
対象事業の実施により区民のニーズに応え、トリフォニーホールが地域住民に浸透した結果と言える。公式サイト、  
Facebook、Twitterの利用者数は新型コロナウイルスの影響で一旦落ち込んだものの、令和3年度以降右肩上がりに増  
加している。

#### ・ホール公式サイト

ユーザー数:	266,398	／	令和元年4月-令和2年3月
	129,818	／	令和2年4月-令和3年3月
	274,308	／	令和3年4月-令和4年3月
	298,043	／	令和4年4月-令和5年3月
ページビュー数:	1,281,589	／	令和元年4月-令和2年3月
	665,690	／	令和2年4月-令和3年3月
	1,125,282	／	令和3年4月-令和4年3月
	1,285,488	／	令和4年4月-令和5年3月

#### ・ホール公式 Facebook

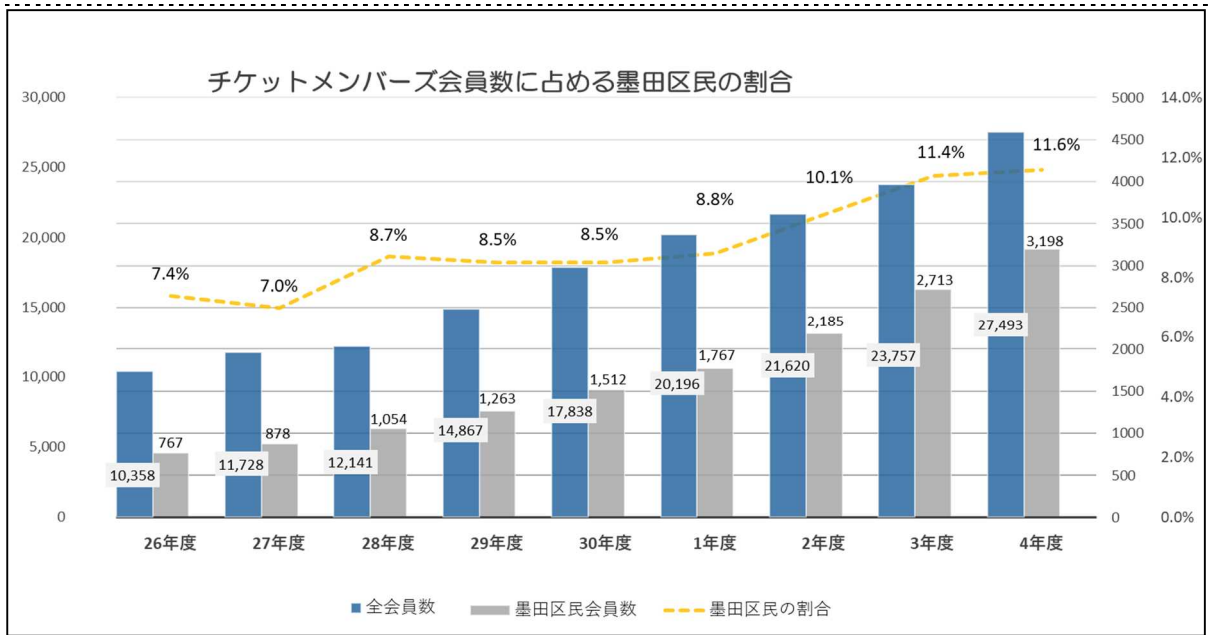
いいね数:	4,143	／	令和3年3月
	4,328	／	令和4年3月
	4,981	／	令和5年3月

#### ・ホール公式 twitter

フォロワー数:	6,238	／	令和3年3月
	6,904	／	令和4年3月
	7,469	／	令和5年3月

#### ・トリフォニーホール・チケットメンバーズ(無料のメールマガジン会員)

会員数:	17,838人	／	うち区民1,512人	／	令和元年3月
	20,196人	／	うち区民1,767人	／	令和2年3月
	21,620人	／	うち区民2,185人	／	令和3年3月
	23,757人	／	うち区民2,713人	／	令和4年3月
	27,493人	／	うち区民3,198人	／	令和5年3月



#### 会員数一覧表

年度	会員数割合	合計	墨田区	江東区	葛飾区	江戸川区	その他23区	23区以外都内	千葉県	神奈川県	埼玉県	茨城県	その他の県
4年度	会員数	27,493	3,198	1,158	477	764	7,523	2,097	3,900	3,090	2,174	474	2,638
	割合		11.6%	4.2%	1.7%	2.8%	27.5%	7.6%	14.2%	11.2%	7.9%	1.7%	9.6%
3年度	会員数	23,757	2,713	1,001	408	636	6,527	1,852	3,430	2,670	1,869	414	2,237
	割合		11.4%	4.2%	1.7%	2.7%	27.5%	7.8%	14.4%	11.2%	7.9%	1.7%	9.5%
2年度	会員数	21,620	2,185	887	374	556	6,109	1,634	3,148	2,462	1,747	383	2,135
	割合		10.1%	4.1%	1.7%	2.6%	28.3%	7.6%	14.6%	11.4%	8.1%	1.8%	9.7%
元年度	会員数	20,196	1,767	800	349	499	5,687	1,596	3,001	2,373	1,659	371	2,094
	割合		8.8%	4.0%	1.7%	2.5%	28.0%	7.9%	14.9%	11.8%	8.2%	1.8%	10.4%
30年度	会員数	17,838	1,512	696	310	450	4,972	1,434	2,641	2,146	1,480	335	1,862
	割合		8.6%	3.9%	1.7%	2.5%	27.9%	8.0%	14.8%	12.0%	8.3%	1.9%	10.4%

#### ■トリフォニーホール区民モニター

トリフォニーホールが実施する事業について、区民の幅広い視点から客観的な評価を得るために、令和3年度よりトリフォニーホール区民モニター制度を導入した。年齢や居住地のバランスを考慮して選出し、令和4年度はさらに規模を拡大し、調査結果の信頼性や有効性を高めた。今後は区民モニターとの連携をより深め、効果的なネットワーク展開へとつなげていく。

#### ■トリフォニーホール紹介動画

「新日本フィル編」「パイプオルガン・舞台機構編」「アート作品編」の3作品を制作して、コロナ禍でもホール探検ができるヴァーチャルボックスステージツアーとしてウェブサイト上で公開した。

特にパイプオルガン編については動画を見た埼玉県の中学校で音楽授業の教材として活用された。

## (5) 持続性（平成30年～令和4年度 5か年分）

### 自己評価

事業計画を通じて組織活動が持続的に発展する（と認められる）か。

#### ■5年間を通じての組織活動の変化

##### 【事業運営の変化した点】

これまでの事業の計画フォーマットを見直し、実績と課題、他施設での事例などのエビデンスを取り入れた計画を進めるようになってきている。ここ最近ではすみだの地域力の向上を目指し、地域社会の変化や行政課題の解決のための事業により一層力を入れており、区民のニーズに応じた事業づくりに努めるようになってきている。

令和元年度末より発生した新型コロナウイルス感染拡大において、墨田区保健所の協力にて、新日本フィルハーモニー交響楽団団員にPCR検査試験を実施し、活動再開に向けた対策をおこなった。

令和3年度から、多くの客観的な事実を得るため、区民を対象としたモニター制度を導入し、多くの区民から意見を集約し、事業運営に活かしている。

令和4年度からは、新理事長が推進する異業種交流活動への積極的な参加により、当館の事業を様々な分野の企業へPRし周知を図ることで、協賛会社の獲得などのビジネスチャンスにつなげる取り組みを開始している。

##### 【経営戦略の変化した点】

あらゆる区民を対象とした事業の拡大を展開するにおいて、区への働きかけによって、音楽事業推進補助として新規事業を開発、承認され、新たな自主財源の獲得に努めている。

新型コロナウイルス感染拡大時においては、墨田区との協議のもと、減収した利用料金の補填を得ることによって、財政状況の安定に努めた。

##### 【人事戦略の変化した点】

令和2年から中長期にわたるホールの展開・発展を見据え、区・新日本フィルとの情報連絡の場や、様々な新しい取り組みがスタートしている。トリフォニーホールで実務経験を持つ人材をエグゼクティブ・アドバイザーとして登用し、そのノウハウや指導による職員のスキル向上、専門的人材育成の強化を図っている。また組織全体で職員個別に目標管理制度を取り入れ、自己評価を各々がおこない目標に向かうことで、組織力の強化を図っている。また、ホール業務に精通している人材を内部登用し、人材の専門能力を高め持続性を向上させている。

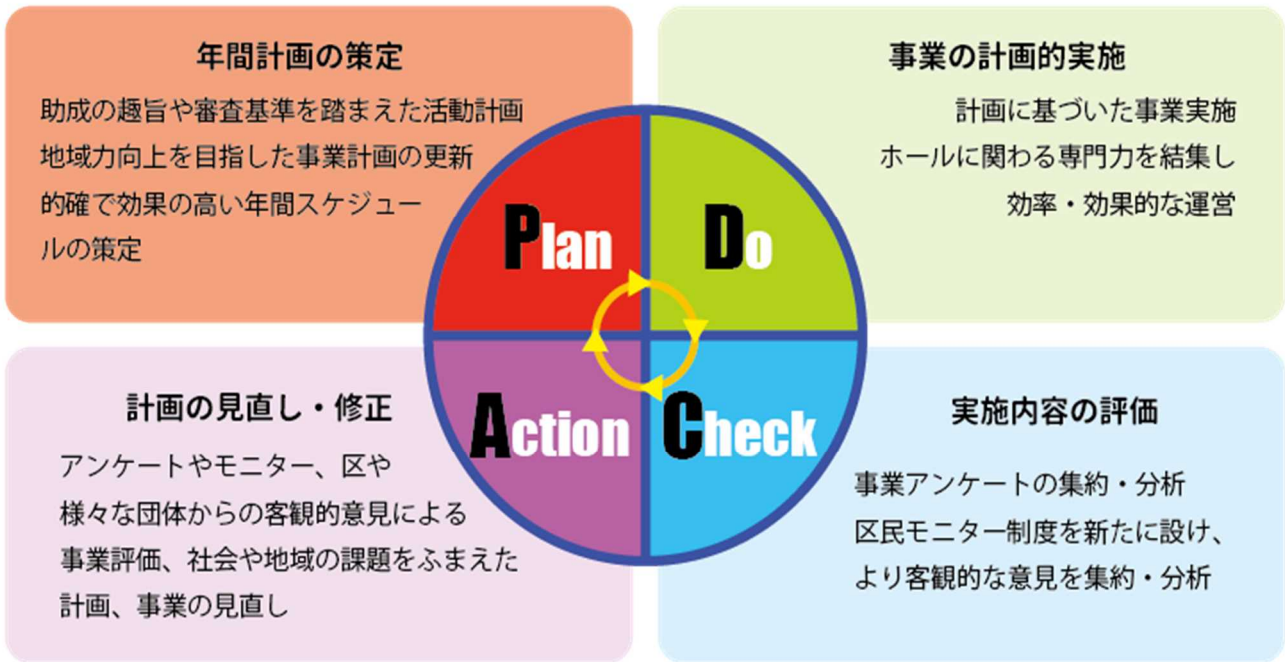
##### 【ネットワーク構築の変化した点】

これまで、コンサートホール企画連絡会議にて同類施設間での事業実施における情報共有や相談をおこなってきた。昨年度よりアウトリーチ・プログラムの新規展開を図るため、近隣施設との事業連携し具体的な事業協力をおこない、これまで自館のみではできなかったプログラム作りに取り組むことが可能となっている。

新理事長による連携強化体制づくりの一環による、区、ホール、新日本フィル3者による会議の定例化や、地域企業とのネットワーク構築をはじめ、アドバイザーによる他ホールの情報提供や事業連携など、様々な角度をもってネットワークづくりが進んでいる。

地元墨田区民に一層支えられるホールを目指すとともに、墨田区や区議会といった行政および議会の理解、区内で活動する様々な団体との連携を強化し、計画に反映していくための戦略的な広報を展開し、新たなコミュニケーションによってさらに客観的な意見を取り入れ、内容を基に計画、実行を進めている。

[PDCAサイクル]



新型コロナウイルス感染拡大に伴い事業の変更を余儀なくされたが、この社会情勢の変化に応じて、遠方ではなく地域住民への参加拡大を促すことが地域力向上につながると捉え、墨田区民が親しみやすい企画、あらゆる墨田区民を対象とした事業を新たに計画し実施した。

この結果を含め、社会情勢の変化やホールの来場時における周囲の方々の嗜好の状況、地域課題や要望などのPDCAのサイクルに落とし込み、事業を推進している。

## 自己評価

持続的なアウトカムの発現・定着が期待できるか。

すみだトリフォニーホールは「オーケストラのフランチャイズ制度と三位一体の展開」、「専門性を持ったプロ意識の高いスタッフの継続的な活動によるホールの総合力」、「利用者の声を反映する新たな仕組みの活用」という、すみだならではの3つの強力な独自のツールを持っている。

これらをさらに充実、発展させることで、以下のような持続的なアウトカムの発現、定着が期待でき、「すみだ」の地域力の向上が図られる。

○開館以来のミッションである東京東部地域の音楽文化の拠点

○地域や世代を超えた人と人との多様なつながりの充実

○子ども、高齢者、障害者、外国人などあらゆる人々が文化芸術に親しみ、主体的な創造活動を展開する

○ブランド力の向上による、錦糸町のイメージアップと交流人口の高まり

※すみだならではの3つの強力な独自のツールについて

### ① オーケストラのフランチャイズ制度と三位一体の展開

昭和63年に墨田区と新日本フィルとの間で締結した我が国初のフランチャイズ提携は、芸術創造と地域社会の協働による新たな試みとしてスタートしたものであり、ホール、オーケストラ、区民が三位一体となって展開する、すみだ独自の仕組みはホール運営の基軸となっている。音作りの一貫性の成果となる多彩な公演、圧倒的な実績を積み重ねたアウトリーチ事業により、ホールのブランド力が向上し、錦糸町のイメージアップや東京東部地域の音楽文化の拠点としての役割を確立している。

### ② 専門性を持ったプロ意識の高いスタッフの継続的な活動によるホールの総合力

開館当初よりホール運営に関わるテクニカルスタッフ、設備スタッフ、レセプションスタッフが一体となってホールを運営、事業実施を進めている。プロフェッショナルな意識を持ったスタッフによるノウハウの蓄積は、施設の利用者からも高い評価を受けている。そしてさらに運営レベルの向上を目指すため、ミーティングを定期的に行い、実務における課題を共有し運営の強化を図ることで、一般的な業務委託では得られない実績と連携による総合力の向上に努めている。

このことにより、さまざまな人々がホールに親しみを感じ、参加できる環境が整備され主体的な創造活動を展開、地域の人々に生きる力を与えている。

### ③ 利用者の声を反映する新たな仕組みの活用

公演等の来場者のアンケートや、施設利用者からの声を集約するとともに、令和3年度から新たに区民モニター制度の導入を始めたことにより、すみだトリフォニーホールがおこなう事業の趣旨や今後の事業展開など様々な客観的な意見を集約し、その内容を事業に反映するといった仕組みを確立している。来場者や区民モニターからのニーズを把握し、年齢や居住地に偏りがなく、多くの人々の声を反映させる良質なプログラムの開発、提供を行うことによって地域の魅力を発信している。